

鹿島警察署協議会開催結果の概要

令和6年4月4日

会 議	令和5年度 第3回 鹿島警察署協議会
開催日時	令和6年2月29日（木）15：00 ～ 17：00
開催場所	鹿島警察署会議室
出席者	○ 協議会：松下会長、前田副会長、永尾委員、小八重委員、伊東委員、光武委員、森川委員、中島委員（8人） ○ 警察署：辻署長、江里口副署長、中村警務課長、太田生活安全課長、山口刑事課長、川崎交通課長、水田地域第二課長、石橋警備課長、原会計課長、警務係長（10人） 計18人
議 事 概 要	
1	開会
2	会長挨拶 今日は令和5年度の第3回目の鹿島警察署協議会の開催となりました。皆さんお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。元日に能登半島で大地震があったり、羽田空港では航空事故があるなど、正月からショッキングな映像等が流れ、大変な年明けになったとの声もあったかと思います。 また、鹿島警察署でも年末年始の祐徳神社の雑踏警備で参拝客が行方不明になり、署員総出で捜索活動を行うなど、相当苦労されたと伺っています。さて、2月8日に、警察本部で開催された警察署協議会代表者連絡会議に出席し、その中で当協議会の活動成果を発表してきました。 全10協議会がある中で神埼署と白石署は女性が会長を務められていることが印象に残っており、時代を反映していることだと思いました。 また、当協議会で議題によく出るニセ電話詐欺被害防止対策が他警察署協議会でも議題に上っているようであり、会議では生活安全企画課安全安心室長が、自ら作成したニセ電話詐欺被害防止対策の動画を紹介されました。この動画は佐賀県警察のホームページで確認できるので、皆さんもぜひ確認してみてください。 そのほか、他の警察署協議会では「時代の変化に対応した警察活動の在り方」という諮問を受けてられており、その答申は次回の協議会で行われるとのことでした。警察署協議会への多くの諮問については、交通、災害、詐欺などが議題とされているようですので、興味深いテーマだと感じました。 今回がこのメンバーでの最後の常会となります。いつも以上に活発な意見交換をよろしくお願いします。
3	署長挨拶 第3回鹿島警察署協議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。協議会員の皆様には大変忙しい中、御出席いただきありがとうございます。 また、平素から警察署の業務運営に関しまして貴重な御意見、御指導をいただいておりますことに対し、感謝申し上げます。 会長の話にありましたが、元日から能登地震、羽田空港での航空機事故など、今年は誰もが予想もできなかった災害が新年早々に発生しましたけれども、それからもう2か月が過ぎようとしています。 県内の治安情勢を申し上げますと、昨年1年間の交通事故死者数が過去最

少の13人であり、これは、全国でも最少という結果になりました。

しかし、今年に入り既に6人の方が亡くなっており、昨年同期比でプラス6人という厳しい状況になっています。

また、治安のバロメーターである刑法犯認知件数は昨年中は3,750件と、前年比でプラス約900件と増加しており、鹿島署でもプラス95件でした。

県内では窃盗事件をはじめ、犯罪が増加傾向にあり、中でも女性や子供が被害に遭う犯罪が増加したほか、ニセ電話詐欺被害の認知件数が前年の約4倍となり、被害総額も5億円を超えるなど、県警察として数多くの課題があります。

このような厳しい治安情勢の中で、警察が真に県民の皆様の期待と信頼に応えるためには、地域の代表である委員の皆様の御意見と地域社会でのお力添えが是非必要であります。

警察署協議会において積極的な議論がなされた警察署の業務の在り方や地域の治安問題については、その成果が着実に実を結んでおりますので、引き続き、この制度の充実と発展に御尽力を賜りますようお願いいたします。

最後に、鹿島警察署協議会のこれからのますますの発展と委員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして挨拶いたします。

本日はよろしくお願い致します。

4 業務報告

- (1) 警務課長
警察相談関係、犯罪被害者支援関係、留置管理業務関係、
教養等の実施状況
- (2) 生活安全課長
犯罪の発生状況、少年非行等の状況、
ストーカー・DV・児童虐待事案への対応状況、防犯広報推進状況
- (3) 刑事課長
刑法犯認知件数、刑法犯検挙件数、主な事件の検挙、
その他（検視業務、建物火災見分の各件数）
- (4) 交通課長
交通事故発生状況、交通事故抑止対策の推進状況、
各種行事等への対応状況
- (5) 地域第二課長
年末年始の雑踏警備の実施、
多良山系レスキューネットワーク活動状況、
「110番の日」における広報活動の実施、
新任警察官の配属
- (6) 警備課長
テロ対策パートナーシップ総会及びテロ対策訓練の実施、
白石警察署との合同災害警備訓練の実施
- (7) 会計課長
遺失物・拾得物関係の説明

5 答申を受けての取組状況

令和5年度の諮問「交通事故抑止対策について」の答申を受けて、

- ・ SNSや市町の防災無線、広報紙等の各種媒体を活用しての注意喚起や情報の発信
 - ・ 小中学校における交通安全教室の実施、特に新年度当初における集中的な実施
 - ・ 「自転車マナーアップモデル校」の指定による生徒同士の指導啓発
 - ・ 運転免許更新時や各種交通安全教育の機会においてのビデオ放映
- など、各種取組の実施状況について報告がなされた。

6 質問、要望等

委員 刑法犯検挙率が半分程度というのは市民として低いのではないかと感じてしまう、過去と比較してこれが妥当なのか否かをお聞きしたい。

警察 刑法犯の検挙率は、検挙の内容や状況によって大きく変わったり、余罪が多数ある犯人を捕まえたりすれば100パーセントになる場合もある。そのため、この数字をもってこの1年間どれだけが捕まってい

- ないと判断されるものではない。
- 委員 携帯電話機に詐欺まがいのメール等が届くことについて、協議会委員も経験があると思う。
- これら詐欺メールについてどのような手口があるのか、具体的な対処方法、あるいは被害の回避方法があるかなどを知りたい。
- 警察 基本的に無視することが最善である。
- 間違っ​​てメールを開いてしまっても、それ以上リンク先をクリックしたりせずに無視すること。
- メールだけでなく、最近はSNSなどを通じて友人となったかのように装って接触し、投資話やもうけ話を持ちかけてお金などをだまし取るやり方が増えている。
- 詐欺に気を付けているような若い層でも、一旦相手とのやり取りを始めてしまうと引っ掛かってしまう場合がある。
- 委員 管内におけるニセ電話詐欺被害額について、昨​​年比で被害がかなり増加している​​ので状況を知りたい。
- 警察 投資によるもうけ話を持ちかけられた詐欺により高額被害が発生したものであるが、これは利益が出ているように装い、だまされた者は利益を得るためにはさらに投資を求められていき、どんどん被害が拡大していったもの。
- 回避策としては、身近な者への相談が早くできていれば被害拡大が防げたとも考えられる。
- 委員 1月1日に発生した、祐徳神社での高齢女性の行方不明事案について、市民にも情報が周知された事案となった。この件については、消防団には1月3日に出動依頼があったが、協力依頼が遅くなった理由や警察署への届出状況を知りたい。初動が遅かったのではないかと思います。
- 警察 行方不明者が高齢であること、足の手術をされているなどの情報から、届出当初は祐徳神社からそう遠くへは行っていないとの判断をし、検索を行っていた。その後、防犯カメラなどから家族が警察へ届出をする前に、既に行方不明者は祐徳神社から遠く離れた場所を徒歩で進行していたことが判明した。
- 委員 当初から検索範囲を限定せず、遠くまで行っているとも考え、大人数で検索を行っていれば良かったのではないかと。
- 市民も協力する意​​思は十分あるので早急な協力依頼をしてもらってかまわない。
- 行方不明者情報は佐賀県全体で、警察のみならず情報共有されるものなのか。
- 警察 警察署間ではもちろん手配をし、自治体などを通じ市民にも情報提供をしている。
- 委員 業務説明にあった犬の遺失届20件について、このうち何件が飼い主に戻ったのか。
- 警察 16件が発見され、飼い主の元に戻っている。

7 その他
能登半島震災支援に出動した署員による活動状況の紹介

8 閉会